



ひのき 63th

牛久一中 学校だより
2025.2.7 No.11
(文責 教頭：池邊)

いばらきっ子郷土検定県大会 2連覇そして3度目の優勝に挑むも準決勝敗退

2月1日(土)、水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館を会場に「第12回いばらきっ子郷土検定県大会」が開催されました。牛久一中は2連覇そして3度目の優勝に挑みました。残念ながら準決勝で今年度の優勝校に敗れてしまいましたが、生徒たちは市内予選から県大会まで意欲的に取り組みました。県大会においてその強さを発揮することができたことは、素晴らしいと思います。以下に、県大会出場生徒のコメントを紹介します。



学校のテストは個人戦ですが、郷土検定は団体戦だったので仲間の大切さを改めて感じました。日頃から、昼休みの時間を使って練習していたので、答えられた問題が多くてうれしかったです。惜しくも準決勝で負けてしまい、悔し涙が出てしまいましたが、1回戦は快進撃で優秀賞をもらえてよかったです。茨城の魅力がたくさん知ることができてとてもよい機会になりました。来年の後輩たちも頑張ってください。(井上 侑海)

郷土検定について、私は楽しかったというのが一番の感想です。人生においてまだ一度も経験したことのないステージでの早押しクイズは楽しかったとともに貴重な経験となりました。仲間と協力したこともよい思い出です。一方、目標としていた優勝には及ばず悔しい気持ちと応援していただいた生徒や先生方に申しわけない気持ちもあります。昼休みにできる練習はすべてやったという自信もあったのですが、岩瀬東中に負けてしまいました。負けた直後は、岩瀬東中に対して尊敬の気持ちがありました。しかし、私たちは負けたことに変わりはありません。この悔しさ、最多優勝校としてのプライドは次の2年生に託したいと思います。今回はありがとうございました。(上田 悠生)

郷土検定県大会に参加し、県レベルの高さを実感しました。また、各学校の郷土検定愛をじかに感じることができ、そして、様々な新しい学びがあり、充実した郷土検定県大会になりました。結果としては、負けてしまったことに悔しさを感じましたが、それ以上の達成感や喜びを感じることができました。(相澤 圭吾)

私はいばらきっ子郷土検定県大会のような大きな大会に出たのは初めてで、最初は緊張してあまり自信がありませんでした。しかし、仲間や先生方のエールによってものすごく自信が出てたくさん活躍できました。また、この大会に出ることができて本当にうれしかったです。他の中学校との仲を深めることもできて、満足しました。とにかく楽しかったです。(松下 アルアキレス)

皆で勉強して県大会に出場できたことがとてもうれしいです。優勝できなかったのは悔しいし、応援してくれた人に申し訳ない気持ちもありますが、その悔しさを今後にかかしていこうと思います。来年の出場者の皆さんも頑張ってください。(樽田 結子)

人権作文 感謝状伝達式 ～人権尊重の重要性、必要性についての理解を深める～

1月30日(木)、本校が水戸地方法務局龍ヶ崎支局から感謝状を伝達されました。本校では、毎年人権作文コンテストに2年生が作文を出品しています。人権作文コンテストは、「次代を担う中学生が人権問題について作文を書くことによって、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めるとともに豊かな人権感覚を身に付けること、及び入賞作品を国民に周知広報することによって、広く一般に人権尊重思想を根付かせることを目的」として開催されています。



今年度、本校では2年生の佐藤佳菜子さんが県優良賞を受賞しました。本校では、今後も人権教育を学校運営の柱として、一人一人の生徒を大切にしたい学校づくり・学級づくりを進めていきます。

誰一人取り残すことなく、質の高い学びを実現する授業づくり

授業形態の工夫とICTの日常的活用による「個別最適な学びと協働的な学び」の一体的な充実

今年度、本校では牛久市の全校全学年共通目標を受け授業改善に取り組んできました。その中で、より学習効果を高めるための学習形態の工夫やICTの日常的活用による「個別最適な学びと協働的な学び」の一体的な充実に努めてきました。昨年度までの校内授業研修から得られた成果を生かしつつ、学習指導要領に示されている資質・能力の育成を図るため、授業づくりのアップデートを進めています。学習形態については、各教科の単元や指導内容に合わせて、対話型、対話＋斉型、一斉型を組み合わせています。そのため、学習のねらいに合わせて学習形態を工夫することが様々な授業において見られるようになりました。また、ICTの日常的活用が進み、学習過程の可視化や一人一台端末を使って課題を提出する取組が増えました。学校評価アンケートの質問項目「ICTを効果的に利用した授業を行っている。」において88%の教員が肯定的に回答しました。さらに、授業の終末や単元末の場面で、「まとめ・振り返り」を確実にし、主体的に学習に取り組む態度の育成に努めてきました。このことにより、生徒は学習に粘り強く取り組んだり、自分の学習を調整したりすることができるようになっています。



1年生 スキー宿泊学習！ 最高の思い出と絆を-Best memory-

1年生は2月10日(月)から12日(水)までスキー宿泊学習を実施します。場所は福島県猪苗代町の「沼尻スキー場」、宿泊地は「マウント磐梯」です。しおりには実行委員を中心に決めた様々な約束が書かれています。家族をはじめ多くの方の支えに感謝し、みんなの約束を守って「最高の思い出と絆を」作っててください。

実行委員長あいさつ 1年4組 榎戸 健進

今回のスキー宿泊学習は、スキーをするのが初めての人が多いと思います。なので、みなさんに楽しんでほしいので、ルールを守り、ケガのないように楽しみましょう。また、スキー宿泊学習には、たくさんの人が携わり、たくさんの協力があるって行くことができます。その方々への感謝を忘れずに過ごしましょう！